

要請番号（JL30619B19）

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ボリビア	H131 栄養士	20～45 歳のみ	個別	新規	2年	・ 2020/1 ・ 2020/2 ・ 2020/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

保健省

2) 配属機関名（日本語）

ボリビア・日本母子病院

3) 任地（ベニ県トリニダ市） JICA事務所の所在地（ラパス県ラパス市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（飛行機+車で 約 4.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

同院は、日本の無償資金協力により1984年に建設された母子病院で、ベニ県の中で唯一三次病院として機能している。同院では、小児科と産婦人科の診療を行っており、外来病棟及び入院施設を有している。各外来・産婦人科病棟50床、小児科病棟47床、周産期病棟20床、分娩室、分娩待機室、その他中央材料室、薬剤部、レントゲン室、検査部等を備えている。年間予算は約24,500米ドル。一日に受診する患者の数は約80-100名、月間分娩数は150-200件で、夜間の救急患者も多い。2016年まで、JICA海外協力隊(助産師)が派遣された。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

本配属先は、2008年4月から2012年10月までベニ県で保健医療サービスの質の向上と住民参加型健康活動促進を目的として実施されたJICA「地域保健ネットワーク強化プロジェクト」の対象機関である。同市は、若年出産、シングルマザー、多産等の問題を抱えている。外来者は、極端に痩せているか肥満体型に分かれ、栄養指導は重要な課題となっておりJICA海外協力隊による栄養指導の要請に至った。2014年から2016年まで、JICA海外協力隊(助産師)が派遣され、女性の尊厳、寄り添う看護、妊産婦の権利において精力的に活動し、一定の成果を挙げた。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先上司や同僚とともに主に以下の活動を行う。

1. 外来者(妊婦や乳幼児を持つ母親等)に対して栄養指導を行う。
2. 現地の食材や調理法を活用した栄養バランスの良いレシピの考案と紹介を行う。
3. 地域の保健所と協力して地域住民向けの栄養教室実施を支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

調理室、調理道具一式、冷蔵庫

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
栄養士2名:30歳代・40歳代、実務経験約7年
調理担当者2名
調理助手1名
活動対象者:
地域の妊産婦

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)又はスペイン語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(栄養士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：下部参照

[参考情報]：

- ・妊婦や乳児の母親に対する経験があるとよい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(20～38℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

住居はホームステイの可能性がある。公共交通機関が乏しいため30分程度の徒歩通勤となるが申請により自転車利用を検討可。